

報道関係 各位

2020年8月1日
株式会社日本レースプロモーション

新型コロナウイルス感染症対策に伴う

外国人ドライバーの入国及び海外レースに参戦したドライバーの帰国後の対応について

新型コロナウイルス感染症への対策として国が示している指針により、8月29日・30日の「全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦 ツインリンクもてぎ」への出場予定の一部選手の参加状況についてご説明いたします。

同感染症に関する外務省の指針(※1)により、
タチアナ・カルデロン(スリーボンド・ドラゴコルセ)
ユーリ・ビップス(チーム・ムゲン)
セルジオ・セッテ・カマラ(バズレーシング ウィズ ビーマックス)
シャルル・ミレシ(バズレーシング ウィズ ビーマックス)
の4名の選手が現在入国できずにいます。

また、厚生労働省の指針(※2)では、選手が海外レースに参戦した場合、その選手は帰国後2週間の待機が義務付けられています。

このため8月のWECスパ・フランコルシャンに参戦する
中嶋一貴(バンテリン チーム トムス)
山下健太(コンドール レーシング)
小林可夢偉(カロツツェリア チーム ケーシーエムジー)
の3名の選手が日程的に全日本スーパーフォーミュラ選手権への参加が厳しい状況です。

JRPはこの二つの問題を解決するために、JAF、各エントラント、主催者等と連携しながら、関係省庁や当該機関と接触し相談を重ねておりますが、残念ながら現在のところ打開の見通しが立っておりません。引き続き関係各所への交渉を継続するとともに、出来る限りの対処を検討してまいり所存です。尚、具体策等詳細につきましては、近日中に発表いたします。

以上

※1 外務省「新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化に係る措置について」

https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/fna/page4_005130.html (7月24日更新)

※2 厚生労働省「水際対策の抜本的強化について(新型コロナウイルス感染症)」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00098.html